

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) セグメント情報等 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響などによる景気後退から緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州諸国の債務問題、タイの洪水、急激な円高の進行などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの事業概況といたしましては、「航空関連事業」・「メディア・ライフサービス事業」において、航空機部品の販売が好調に推移したものの、退役航空機の取扱数の減少や施設管理業務の低調などが影響し、売上高・利益ともに前年実績を下回る結果となりました。

「リテール事業」・「フーズ・ビバレッジ事業」においては、通信販売関連が低調に推移したものの、第3四半期より空港店舗関連が回復基調になるなど、売上高は前年実績を下回りましたが、利益面では前年実績を上回る結果となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は68,410百万円（前年同四半期比92.1%）、営業利益は1,411百万円（前年同四半期比92.2%）、経常利益は1,468百万円（前年同四半期比88.2%）、四半期純利益は699百万円（前年同四半期比75.2%）となりました。

| 連結業績 (金額単位：百万円) | 前第3四半期 (平成22年4～12月) | 当第3四半期 (平成23年4～12月) | 前期比 (%) | 前期差 |
|--------------------|------------------------|------------------------|---------|--------|
| 売上高 | 74,262 | 68,410 | 92.1 | △5,852 |
| 営業利益 | 1,531 | 1,411 | 92.2 | △120 |
| 経常利益 | 1,665 | 1,468 | 88.2 | △196 |
| 四半期純利益 | 930 | 699 | 75.2 | △230 |

[セグメント別の概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。なお、各業績数値は、グループ内セグメント間売上高および振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用等）調整前の金額です。

前連結会計年度までリテール事業セグメントに分類していた贈答関連事業のうち、雑貨関連の金額を第1四半期よりメディア・ライフサービス事業セグメントに含めたため、以下の前年同期との比較においては、上記を組み替えた金額で分析しています。

① 航空関連事業

航空機関連では、退役航空機の取扱数の減少があったものの、航空機部品の販売が好調に推移しました。機材・調達関連では、空港特殊車両などの販売が低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高16,082百万円、営業利益608百万円、増収・減益となりました。

| 航空関連事業 (金額単位：百万円) | 前第3四半期 (平成22年4～12月) | 当第3四半期 (平成23年4～12月) | 前期比 (%) | 前期差 |
|----------------------|------------------------|------------------------|---------|------|
| 売上高 | 15,712 | 16,082 | 102.4 | 370 |
| 営業利益 | 873 | 608 | 69.6 | △265 |

② メディア・ライフサービス事業

不動産関連では、施設工事の新規受注があったものの、施設管理業務が減少し低調に推移しました。メディア関連では、関西地区における制作・印刷業務が順調に推移しましたが、第2四半期以降一部取引形態の変更などにより収益減となりました。保険関連では、法人および個人需要が減少し低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高8,016百万円、営業利益 886百万円、減収・減益となりました。

| メディア・ ライフサービス事業 (金額単位：百万円) | 前第3四半期 (平成22年4～12月) | 当第3四半期 (平成23年4～12月) | 前期比 (%) | 前期差 |
|----------------------------------|------------------------|------------------------|---------|--------|
| 売上高 | 10,329 | 8,016 | 77.6 | △2,313 |
| 営業利益 | 1,090 | 886 | 81.3 | △203 |

③ リテール事業

空港店舗関連では、第3四半期より回復基調が鮮明となり、ブランド・免税関連では、免税店向け卸売が順調に推移しました。贈答用食品関連では、デパートおよび新たに開始したコンビニエンスストア向けの販売が順調に推移しました。通信販売関連では、インターネットサイトを刷新したものの、低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高 31,884 百万円、営業利益710百万円、減収・増益となりました。

| リテール事業 (金額単位：百万円) | 前第3四半期 (平成22年4～12月) | 当第3四半期 (平成23年4～12月) | 前期比 (%) | 前期差 |
|----------------------|------------------------|------------------------|---------|--------|
| 売上高 | 34,948 | 31,884 | 91.2 | △3,064 |
| 営業利益 | 467 | 710 | 152.0 | 243 |

④ フーズ・ビバレッジ事業

農水産関連では、サーモン加工品などの冷凍水産物、パプリカをはじめとする西洋野菜や韓国産メロンなどの販売が順調に推移しました。機内食などの加工食品関連やワイン関連では、低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高 12,828百万円、営業利益 702百万円、減収・減益となりました。

| フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円) | 前第3四半期 (平成22年4～12月) | 当第3四半期 (平成23年4～12月) | 前期比 (%) | 前期差 |
|---------------------------|------------------------|------------------------|---------|------|
| 売上高 | 13,462 | 12,828 | 95.3 | △634 |
| 営業利益 | 778 | 702 | 90.2 | △76 |

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産負債及び純資産の状況

(総資産)

現預金が減少し、譲渡性預金であった有価証券も減少しました。また、株式の一部売却により関連会社2社が持分法適用範囲から除外されたため関連会社株式が減少しました。一方で売掛金やたな卸資産、前渡金は増加しました。たな卸資産の増加は、賃貸用不動産の所有目的変更に伴う固定資産からの振り替えによるものです。その結果、総資産は前連結会計年度と比較して2,232百万円増加し、36,822百万円になりました。

(負債)

長期借入金の期限前弁済により借入金は減少しました。一方、年末商戦向けの仕入れにより買掛金は増加しました。その結果、負債合計は前連結会計年度と比較して1,911百万円増加し、22,525百万円になりました。

(純資産)

剰余金の配当を行いました。四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しました。その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して321百万円増加し、14,296百万円になりました。また、自己資本比率は1.7ポイント減少し、35.4%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期業績予想につきましては、平成23年7月13日公表の「業績予想および期末配当予想に関するお知らせ」から変更はありません。

当社は、平成23年11月24日に公表しました「株式会社JALUXと株式会社サークルKサンクスとの業務提携に関するお知らせ」のとおり、(1) 空港および関連施設等へのコラボ(協業)店舗の出店、(2) 商品共同開発並びに商品・食材の供給、(3) 共同販売促進企画の実施、を主な内容とする広範な業務提携契約を両社間で締結しました。

本業務提携などによる業績への影響が見込まれる場合には、確定次第公表します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,007,068 | 4,019,777 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,822,161 | 12,462,626 |
| 有価証券 | 1,000,000 | — |
| たな卸資産 | 5,213,580 | 6,420,091 |
| その他 | 2,426,003 | 3,740,165 |
| 貸倒引当金 | △110,266 | △76,723 |
| 流動資産合計 | 22,358,547 | 26,565,938 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 6,337,041 | 5,187,742 |
| 無形固定資産 | 699,004 | 518,098 |
| 投資その他の資産 | 5,195,218 | 4,524,041 |
| 固定資産合計 | 12,231,264 | 10,229,882 |
| 繰延資産 | — | 26,310 |
| 資産合計 | 34,589,811 | 36,822,131 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,514,286 | 11,271,547 |
| 短期借入金 | 2,515,993 | 4,297,935 |
| 未払法人税等 | 60,050 | 580,494 |
| 未払費用 | 1,844,389 | 1,781,910 |
| その他 | 2,488,805 | 2,482,287 |
| 流動負債合計 | 15,423,526 | 20,414,176 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,044,205 | 909,880 |
| 退職給付引当金 | 292,457 | 379,067 |
| 役員退職慰労引当金 | 28,275 | 31,985 |
| その他 | 825,903 | 790,481 |
| 固定負債合計 | 5,190,841 | 2,111,415 |
| 負債合計 | 20,614,367 | 22,525,591 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,558,550 | 2,558,550 |
| 資本剰余金 | 711,250 | 711,250 |
| 利益剰余金 | 10,482,317 | 10,817,378 |
| 自己株式 | △75,687 | △68,150 |
| 株主資本合計 | 13,676,429 | 14,019,028 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △21,994 | △9,533 |
| 繰延ヘッジ損益 | 17,761 | △12,445 |
| 為替換算調整勘定 | △823,396 | △948,030 |
| その他の包括利益累計額合計 | △827,629 | △970,009 |
| 新株予約権 | 13,276 | 9,882 |
| 少数株主持分 | 1,113,367 | 1,237,638 |
| 純資産合計 | 13,975,444 | 14,296,539 |
| 負債純資産合計 | 34,589,811 | 36,822,131 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 74,262,669 | 68,410,405 |
| 売上原価 | 58,225,952 | 54,069,662 |
| 売上総利益 | 16,036,717 | 14,340,742 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 936,027 | 958,981 |
| 給料及び手当 | 4,974,756 | 4,383,993 |
| 退職給付費用 | 330,961 | 357,156 |
| 減価償却費 | 528,582 | 450,251 |
| 賃借料 | 2,825,880 | 2,384,299 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 10,140 | 3,710 |
| その他 | 4,898,842 | 4,390,905 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 14,505,189 | 12,929,297 |
| 営業利益 | 1,531,527 | 1,411,445 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9,452 | 7,905 |
| 受取配当金 | 7,494 | 4,674 |
| 持分法による投資利益 | 71,586 | — |
| 為替差益 | 162,690 | 159,405 |
| 仲介手数料 | 38,355 | 27,922 |
| その他 | 100,212 | 50,504 |
| 営業外収益合計 | 389,792 | 250,412 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 133,330 | 88,675 |
| 持分法による投資損失 | — | 48,820 |
| 支払手数料 | 32,754 | 41,840 |
| 控除対象外消費税等 | 59,669 | — |
| その他 | 30,319 | 13,600 |
| 営業外費用合計 | 256,074 | 192,938 |
| 経常利益 | 1,665,245 | 1,468,919 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 56,000 | 2,141 |
| 投資有価証券売却益 | 35,180 | — |
| その他 | 8,041 | 10 |
| 特別利益合計 | 99,221 | 2,152 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 4,083 | 46,002 |
| 投資有価証券売却損 | — | 42,073 |
| 投資有価証券評価損 | — | 12,157 |
| 関係会社清算損 | 42,274 | — |
| 特別退職金 | 8,192 | 88,886 |
| その他 | 4,517 | 5,239 |
| 特別損失合計 | 59,068 | 194,359 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,705,398 | 1,276,713 |
| 法人税等 | 785,387 | 546,731 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 920,010 | 729,981 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △10,268 | 30,525 |
| 四半期純利益 | 930,279 | 699,456 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 920,010 | 729,981 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,045 | 6,104 |
| 繰延ヘッジ損益 | △43,431 | △30,206 |
| 為替換算調整勘定 | △172,570 | △122,131 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2,827 | 3,113 |
| その他の包括利益合計 | △212,129 | △143,119 |
| 四半期包括利益 | 707,881 | 586,861 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 719,263 | 557,077 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △11,382 | 29,784 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額(注2) |
|-----------------------|------------|------------------------|------------|-----------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 航空関連事業 | メディア・ラ イフサービス 事業 | リテール事 業 | フーズ・ビバ レッジ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,704,704 | 10,263,791 | 34,926,901 | 13,367,272 | 74,262,669 | — | 74,262,669 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 7,321 | 65,603 | 21,544 | 95,703 | 190,172 | △190,172 | — |
| 計 | 15,712,026 | 10,329,394 | 34,948,445 | 13,462,975 | 74,452,842 | △190,172 | 74,262,669 |
| セグメント利益 | 873,915 | 1,090,678 | 467,321 | 778,928 | 3,210,842 | △1,679,315 | 1,531,527 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,679,315千円には、セグメント間取引消去△715千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,678,600千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額(注2) |
|-----------------------|------------|------------------------|------------|-----------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 航空関連事業 | メディア・ラ イフサービス 事業 | リテール事 業 | フーズ・ビバ レッジ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,078,604 | 7,862,508 | 31,861,492 | 12,607,799 | 68,410,405 | — | 68,410,405 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4,089 | 153,755 | 22,556 | 220,488 | 400,889 | △400,889 | — |
| 計 | 16,082,693 | 8,016,263 | 31,884,049 | 12,828,288 | 68,811,295 | △400,889 | 68,410,405 |
| セグメント利益 | 608,013 | 886,824 | 710,373 | 702,714 | 2,907,926 | △1,496,480 | 1,411,445 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,496,480千円には、セグメント間取引消去△584千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,495,896千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

従来よりリテール事業に区分していた贈答関連事業の内の雑貨関連事業を、組織変更に伴い第1四半期連結会計期間からメディア・ライフサービス事業へ区分を変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間に開示している金額は、新しいセグメント区分により組み替えたものを記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。